

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第2号
所在地	盛岡市三本柳8-1-3	評価実施期間	平成21年9月2日～11月27日

2 事業者情報

事業者名称：大洋学園 (施設名)	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 木川田 典彌 (管理者) 施設長 刈谷 忠	開設年月日 昭和30年3月30日
設置主体：社会福祉法人 大洋会 経営主体：社会福祉法人 大洋会	定員（利用人員） 56名（56名）
所在地：大船渡市立根町字下欠125-15 TEL 0192-26-2714 FAX 0192-26-2771	

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○質の向上へ積極的な取り組み

サービスの質を高めるため、第三者評価を平成17年度から平成21年度まで連続5回受審され、受審に先立ち職員一人ひとりが第三者評価基準に基づいた自己評価を行い、それらを運営協議会及び職員会議で検討し、根拠を明確にしたランク付けを行って実態に近い自己評価がまとめられている。

また、職員からの業務改善アンケートや子供への食事に対するアンケートなど、学園として質の向上に対する取り組みが意欲的に行われており、評価できる。

◇ 改善が求められる点

○経営分析による課題発見の取り組み

経費節減や業務のパソコン処理及びソフト導入による効率化の推進、或いは業務改善アンケートによる課題把握など経営改善への取り組みは評価できるが、財務や業務効率について、科学的分析による課題発見が十分でなく、今後の取り組みを期待したい。

このことは法人大洋会の多角経営に対応できる人材養成の面からも効果的であり、運営委員会などの幹部職員による組織的な取り組みを期待したい。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

業務効率の面では、職員の支援記録に要する時間の省力化を図るために支援記録ソフトの導入を決定し、新年度予算に計上しました。また、小規模グループケア推進に向けた本園ユニット化整備を新年度から始めますが、それが職員負担増に繋がらないように担当職員数、夜間体制等について検討し、予算面でも大凡見通しがたったところです。現在、大洋会福祉活動計画期間中の収支見通しを明らかにしながらその具現化を進めていますが、今後も詳細に分析や見直しをしながら福祉サービスの向上に努めて

いきたいと考えます。

そして、太洋学園の基本となる養護要領の確認を職員全体で定期的に行いながら、支援の標準化・向上に努め、生活の主体である子ども達の自立を促進していきたいと考えます。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果
(別紙)

施設名: 大洋学園

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2)	理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	a
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	a
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
I-2-(2)	計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(2)-②	計画が職員や利用者等に周知されている。	a

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1)	管理者の責任が明確化されている。	
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
I-3-(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
II-1-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。	
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	b
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	非該当

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ・２・（１）人事管理の体制が整備されている。		
	Ⅱ・２・(1)・① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
	Ⅱ・２・(1)・② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ・２・（２）職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ・２・(2)・① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
	Ⅱ・２・(2)・② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	b
Ⅱ・２・（３）職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ・２・(3)・① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
	Ⅱ・２・(3)・② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
	Ⅱ・２・(3)・③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	
Ⅱ・２・（４）実習生の受け入れが適切に行われている。		
	Ⅱ・２・(4)・① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
	Ⅱ・２・(4)・② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

Ⅱ－３ 安全管理

		第三者評価結果
Ⅱ・３・（１）利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
	Ⅱ・３・(1)・① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
	Ⅱ・３・(1)・② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ・４・（１）地域との関係が適切に確保されている。		
	Ⅱ・４・(1)・① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
	Ⅱ・４・(1)・② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
	Ⅱ・４・(1)・③ ボランティアを受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
Ⅱ・４・（２）関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ・４・(2)・① 必要な社会資源を明確にしている。	a
	Ⅱ・４・(2)・② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a
Ⅱ・４・（３）地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
	Ⅱ・４・(3)・① 地域の福祉ニーズを把握している。	a
	Ⅱ・４・(3)・② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	b
	Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	b
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
	Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
	Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

Ⅲ－２ サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
	Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
	Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
	Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
	Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
	Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
	Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

付加基準(児童養護施設版)

A－１ 利用者の尊重

	第三者評価結果
1-(1) 利用者の尊重	
A-1-(1)-① 子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治会活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
A-1-(1)-② 施設が行う援助について事前に説明し、子どもが主体的に選択（自己決定）できるように支援している。	b
A-1-(1)-③ 多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通じて、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるように支援している。	b
A-1-(1)-④ 多くの人たちとのふれあいを通じて、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生ができるよう支援している。	b
A-1-(1)-⑤ 子どもの発達に応じて、本人の出生や生い立ち、家族の状況等について、子どもに適切に知らせている。	a
A-1-(1)-⑥ 体罰を行わないよう徹底している。	a
A-1-(1)-⑦ 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
A-1-(1)-⑧ 子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障されている。	a

A－２ 日常生活支援サービス

	第三者評価結果
2-(1) 援助の基本	
A-2-(2)-① 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、常に個々の子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている。	b
A-2-(1)-② 子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	b
2-(2) 食生活	
A-2-(2)-① 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を払っている。	a
A-2-(2)-② 子どもの生活時間にあわせた食事の時間が設定されている。	a
A-2-(2)-③ 発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を適切に行っている。	b
2-(3) 衣生活	
A-2-(3)-① 衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している。	a
A-2-(3)-② 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように援助している。	a

2-(4) 住生活		
A-2-(4)-①	居室等施設全体が生活の場として安全性や快適さに配慮したものになっている。	b
A-2-(4)-②	発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している。	a
2-(5) 衛生管理、健康管理、安全管理		
A-2-(5)-①	発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理できるよう支援している。	a
A-2-(5)-②	医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a
2-(6) 問題行動に対しての行動		
A-2-(6)-①	子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に適切に対応している。	a
A-2-(6)-②	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a
A-2-(6)-③	施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。	a
2-(7) 自主性、自律性を尊重した日常生活		
A-2-(7)-①	行事などのプログラムは、子どもが参画しやすいように計画・実施されている。	a
A-2-(7)-②	休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している。	a
A-2-(7)-③	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a
A-2-(7)-④	子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している。	a
2-(8) 学習支援、進路指導等		
A-2-(8)-①	学習環境の整備を行い学力に応じた学習支援を行っている。	b
A-2-(8)-②	学習を卒業する子どもの進路について、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう援助している。	a
A-2-(8)-③	職場実習や職場体験等の機会を通じて、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
A-2-(8)-④	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
2-(9) メンタルヘルス		
A-2-(9)-①	被虐待児など心理的なケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
2-(10) 家族とのつながり		
A-2-(10)-①	児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制づくりができています。	a
A-2-(10)-②	子どもと家族の関係づくりのために面会、外出、一時帰省などを積極的に行っている。	a